

開会あいさつ

本日は京都府舞鶴警察署から講師の先生をお招きし、不審者の侵入時の適切な対応法などについて研さんを深めます。

ご存知のとおり、8月に全教職員による「不審者対応訓練」を予定していましたが、しかし、新型コロナウイルス感染症などの感染拡大なども危惧され、残念ながら実施に至りませんでした。

しかし、是非、研さんを深めたく思っていましたので、やや規模は縮小したものの、本日に研修を実施できることを大変、喜ばしく思います。

本日はご多忙にもかかわらず、貴重な時間を割いていただき、本校にお越しいただいたこと、改めて感謝申し上げます。

今年は未曾有の被害をもたらした「関東大震災」の発生からちょうど100年目に該当します。また、本日は1月13日ですが、間もなく訪れる1月17日といえば、「阪神・淡路大震災」を想起せずにはおられません。

私たちの予想を越える「自然災害」の猛威と同様、不審者の侵入などに端を発する凶悪な犯罪や事件などに巻き込まれることも決してあってはなりません。

21世紀の幕開けとなった「2001（平成13）」年の6月8日、出刃包丁を持った男が小学校に侵入し、児童、教職員23名を殺傷するという大変痛ましい事件がありました。子どもたちにとって、安心かつ安全であった「学校」の「安全神話」が崩壊したという大変衝撃的な出来事でした。

私たち教育に関わる者一人ひとは、この「事件」を風化させることなく、しっかりと心に深く刻むことが常に求められています。

今回の研修を、心に「刻む」一助としていきたいと思います。それではよろしく願い申し上げます。

京都府立舞鶴支援学校
行永分校
副校長 堀江 嘉明

